

酒井幸菜《眼差しと筆跡(展示室のコレオグラフィ)》

本展の出品作品として、酒井幸菜がパフォーマンスと「採集」作業を会期中の会場で行います。

[パフォーマンス]

各作家の展示空間で、約15分の公演を各1日、午前と午後に行います(内容と出演者は各日により異なります)。また、展覧会の初日と最終日に約30分のパフォーマンスを行います。本展閉会后、作品が撤去された空間で行う非公開のパフォーマンスは、記録映像として後日の公開を予定しています。

[採集]

各パフォーマンスに先立ち、各作家の展示空間で、酒井が作品や空間、鑑賞者やスタッフの「動き」を観察し、作成したスケッチやメモを作業場として設定された展示空間に掲示していきます。また、この場所で振付の構想や検討の作業を行います。採集日(酒井来館日)の最新情報は美術館ウェブサイト、Twitter等でお知らせします。

[パフォーマンス日時]

- 7月13日[土] 16:00 「(習作として)」
 - 7月28日[日] 11:00 / 15:00 「津上部屋にて」
 - 8月10日[土] 11:00 / 15:00 「一之瀬部屋にて」
 - 8月24日[土] 11:00 / 15:00 「三嶽部屋にて」
 - 9月1日[日] 11:00 / 15:00 「白石部屋にて」
 - 9月8日[日] 16:00 「展示室を通して」
 - 9月[非公開/映像記録を後日公開] 「空白の展示室にて」
- *スケジュールや内容は変更される場合があります。
最新情報は美術館ウェブサイト、Twitter等をご確認ください。

すべて申込不要、参加無料(ただし展示室でのイベントは本展の当日観覧券が必要です)。詳細は美術館ウェブサイトをご覧ください。イベント内容は変更される場合があります。

アーティストトーク

場所||すべて展示室

白石由子
日時||7月15日[月・祝] 13:00-14:00
ゲスト||川村格夫(本展出品作《SPECIMEN》制作のユニット「36」のメンバー)
《SPECIMEN》の音盤(レコード)を会場で上演します。

津上みゆき
日時||7月28日[日] 13:00-14:00

酒井幸菜
日時||7月28日[日] 15:15-16:15
15:00からのパフォーマンス終了後となります。

一之瀬ちひろ
日時||8月10日[土] 13:00-14:00
ゲスト||尾中俊介(Calamari inc.) (本展グラフィックデザイナー)

三嶽伊紗
日時||8月24日[土] 13:00-14:00

館長トーク

「みえるもののむこう」

日時||9月1日[日] 13:00-14:00
場所||展示室2・3

担当学芸員によるギャラリートーク

日時||7月27日[土]、8月8日[木]、8月27日[火]
各日14:30-15:00
場所||展示室2・3

近代美術館入門講座(葉山町共催)

「みえるもののむこうとこちら」

講師||三本松倫代(当館主任学芸員)
日時||7月27日[土] 10:00-11:00
場所||葉山町福祉文化会館 大会議室

Beyond the Visible

July 13 – September 8, 2019
The Museum of Modern Art, Hayama | Galleries 2 and 3

Hours: 9:30–17:00 (Last admission at 16:30)
Closed: Mondays (except July 15 and August 12)
Admission: Adults: 600 (500) yen / Under 20 and Students: 450 (350) yen / 65 and over: 300 yen / High School Students: 100 yen / Junior High School Students and under 16: Free
*Prices in brackets indicate group (over 19 persons) discount tickets. Those with disabilities and one accompanying caretaker are admitted free of charge upon presentation of a Disabled Person's Handbook or an equivalent government issued identification. For further information on concessions, please visit our website.
Also on display in Gallery 1/ YUNOKI Samiro: *Chojin-giga*
Organized by The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama
With the cooperation of COLOR SCIENCE LABO CO. LTD., Frameman Co. Ltd., YAMADA PHOTO PROCESS CO., LTD.

観覧料||一般600(500)円/20歳未満・学生450(350)円/65歳以上300円/高校生100円

- * ()内は20名以上の団体料金です。中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方(および介助者原則1名)は無料です。
- * セット割:「柚木沙弥郎の『鳥獣戯画』」との同時購入で、一般および20歳未満・学生の観覧券がセットで100円引になります。
- * リポート割:有料観覧券の半券のご提示で、一般および20歳未満・学生の後日の観覧料が100円引になります(1枚につき1回限り有効)。
- * ファミリー・コミュニケーションの日(毎月第1日曜日:8月4日、9月1日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は割引料金(65歳以上の方を除く)でご覧いただけます。また同日は会話を楽しむ日「オープン・コミュニケーション・デー」となります。小さなお子様連れの方も、遠慮なくご覧ください。
- * その他の割引につきましてはお問い合わせください。

カタログ 2019年8月刊行予定。会場記録、作家の言葉、解説等を収録。
撮影||山本斜/デザイン||尾中俊介(Calamari inc.)

[葉山館への交通案内]
電車とバス||R横須賀線「逗子」駅南(3番のりば)、または京浜急行「新逗子」駅南(南口2番のりば)から京浜急行バス「逗11、12系統(海岸回り)」で「三ヶ丘(さんがおか)・神奈川県立近代美術館前」下車(所要約20分)。車||横浜横須賀道路、逗子インターチェンジまたは横須賀インターチェンジからそれぞれ7~8km。

[葉山館駐車場(有料)のご案内]
営業時間||8:30-18:00(入庫は16:30まで)
駐車料金(1時間/追加は30分毎に加算)||
普通車400円(7-8月 平日600円/土日祝1,000円) バス1,200円(7-8月1,800円)
*「みえるもののむこう」または「柚木沙弥郎の『鳥獣戯画』」の観覧券をお持ちの方は1時間(7-8月は1時間半)無料です。*レストランやショップで2,000円以上ご利用いただいた方は、1時間無料(併用で最大2時間/7-8月は2時間半無料)となります。*貸切バス等(定員11名以上)でご来館の場合、駐車場の事前予約および前面道路の通行許可申請が15日前までに必要です。団体名、連絡先、来館日時、台数をご連絡ください。Tel. 046-875-2800

鎌倉別館は2019年9月まで休館中/10月12日[土]リニューアル・オープン[予定]

神奈川県立近代美術館 葉山
The Museum of Modern Art, Hayama
〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 | 2208-1 Isshiki, Hayama, Kanagawa 240-0111 JAPAN
Tel.046-875-2800 | Fax.046-875-2968 | http://www.moma.pref.kanagawa.jp | @KanagawaMoMA



みえるもののむこう

一之瀬 ちひろ
ICHINOSE Chihiro

酒井 幸菜
SAKAI Yukina

白石 由子
SHIRAIISHI Yuko

津上 みゆき
TSUGAMI Miyuki

三嶽 伊紗
MITAKE Isa

Beyond the Visible

2019年7月13日[土]—9月8日[日]
神奈川県立近代美術館 葉山 展示室2・3

July 13 – September 8, 2019 | The Museum of Modern Art, Hayama

開館時間||9:30-17:00(入館は16:30まで)|休館日||月曜日(7月15日、8月12日は開館)
主催||神奈川県立近代美術館
協力||株式会社カラーサイエンスラボ/株式会社フレームマン/株式会社山田写真製版所
[同時開催] 柚木沙弥郎の「鳥獣戯画」 展示室1

津上みゆき
右から (View, a plum tree on the hill, the shade, 12:22pm 2 Mar 2019)
(View, a nightingale singing, 11:55am 2 Mar 2019)
(View, a plum tree on the hill, the light, 12:22pm 2 Mar 2019)
すべて2019年 アクリル、カンヴァス 作家蔵 撮影:山本斜



The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama
神奈川県立近代美術館

一之瀬 ちひろ

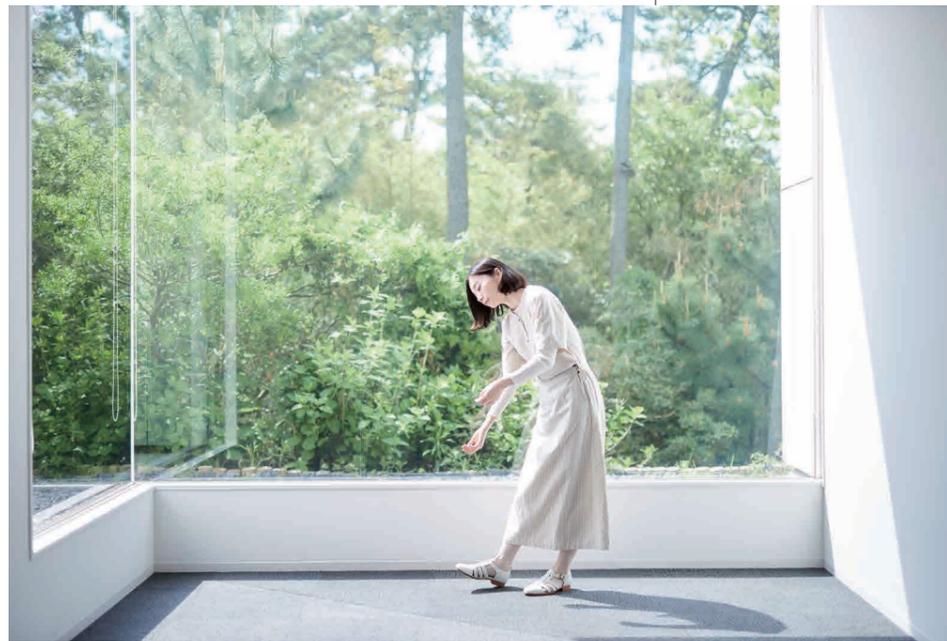
ICHINOSE Chihiro



一之瀬ちひろ「きみのせかいをつつむひかり(あるいは国家)について」より[#035] 2019年 写真 作家蔵
Ichinose Chihiro, from the series *About the light (or the nation) around you* [#035], 2019, Photography, Collection of the artist

酒井 幸菜

SAKAI Yukina



酒井幸菜 神奈川県立近代美術館 葉山、2019年4月 撮影:相川健一
Sakai Yukina at The Museum of Modern Art, Hayama, April 2019, Photo: Aikawa Kenichi

生の美しさを世界に探り、眼に見えるかたちにして、作品へと映し出すアートの力。眼と精神、そして身体を日々生きられる空間に置き、そこから見えるものとその向こうに感じ取ったものを表現に起こしていく清新な感性の現在を、5人の現代作家の仕事を通してとらえます。

参加アーティストの一人ひとは、葉山の自然に囲まれた美術館の内と外を体感し、場の特性に呼応したサイトスペシフィックな新作や初公開の作品を含めてそれぞれの展示空間を構成しました。

絵画をはじめ音楽や建築のプロジェクト、キュレーション活動なども展開し、女性による抽象画を再考する近年の国際的動向のなかで高い評価を受ける白石由子(1956-)は、日本の美術館では初となる個展形式の空間で、油彩と版画、立体インスタレーションに加え音盤作品を展示。

冬の自然を撮影した静謐な動画を重ねて、具象と抽象のはざまに成立する映像作品を手がける三嶽伊紗(1956-)は、そこで追求される表面性の問題を、朦朧とした色面や光を立体化したインスタレーションでも展開しています。

国内外で意欲的な新作展示が続く津上みゆき(1973-)は、数度にわたり葉山を訪れ、この土地の光と空気、音や自身の感覚をとらえたスケッチブックから、鮮明かつ抑制された色彩と空隙が画面を充たす抽象的な絵画を制作し、葉山に新しい風景を拓きました。

写真家の一之瀬ちひろ(1975-)は、コラージュを施したり、余白や色光を印画紙へ焼き付けて複写を繰り返す独自の手法で注目を集めた「KITSILANO」シリーズの作品に初公開を含む新作・新作を加え、プリントと映像、印刷物などを複合的に構成。写真に現れたイメージを超えて、社会と日常に遍在する意識下の風景を取り出してみせます。振付家/ダンサーの酒井幸菜(1985-)は、「美術館」という場をテーマに本展の作品や鑑賞者の動きからモチーフを採集し、振付家として各作家の空間にあてたパフォーマンスを制作・上演します。会期を通して生成していく彼女の作品は、作品と人々、意味と歴史が統合されたもう一つの生を美術館にもたらすことでしょう。

作家ごとの独立した空間性を保ちつつ、ゆるやかに連なる展示室に順路はありません。静かな美しさと確からしさにみちた作品空間を往き来し、窓外にひろがる自然の生命力を感じながら、アートと世界の連続性について体感し、思索する夏の時間をお過ごしください。

みえるものものむこう

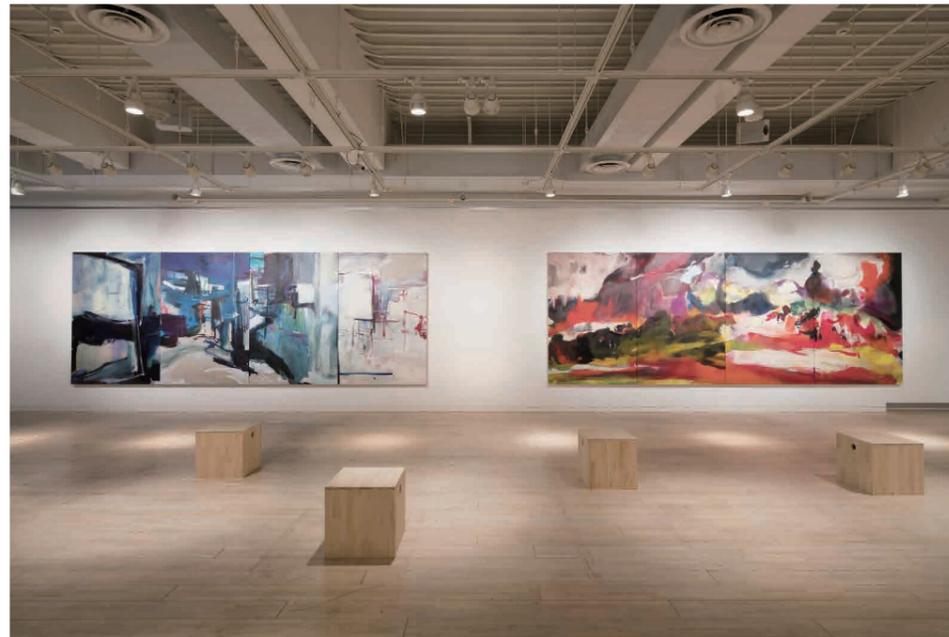
Beyond the Visible

Art has the power to seek out the raw beauty of life that exists in the world and give it a visible form. In search of new incarnations of that sensibility, we take a look at the work of five artists working in genres as diverse as painting, photography, installation, video, and dance, all of whose work is concerned with what is felt beyond the realm of the visible by eyes, spirits and bodies located in contemporary spaces. Featuring work by Ichinose Chihiro (b. 1975), Sakai Yukina (b. 1985), Shiraishi Yuko (b. 1956), Tsugami Miyuki (b. 1973), and Mitake Isa (b. 1956).

白石由子《Moon Drop》1996年 油彩、カンヴァス 作家蔵 協力:横田茂ギャラリー
Shiraishi Yuko, *Moon Drop*, 1996, Oil on canvas, Collection of the artist, Courtesy of Shigeru Yokota Gallery



津上みゆき 個展「時の景、つなぐとき」ポーラミュージアム アネックス、2016年 撮影:長塚秀人 協力:ANOMALY
Tsugami Miyuki, Solo exhibition "Toki-no-kei, Tsunagutoki [Landscape of Time, Connected Time]," POLA MUSEUM ANNEX, 2016, Photo: Nagatsuka Hideto, Courtesy of ANOMALY



三嶽伊紗 個展「三嶽伊紗のしごとーみているものむこう」徳島県立近代美術館、2014年 撮影:米津光
Mitake Isa, Solo exhibition "Isa Mitake works: beyond sight," The Tokushima Modern Art Museum, 2014, Photo: Yonezu Akira



白石 由子
SHIRAISHI Yuko

津上 みゆき
TSUGAMI Miyuki

三嶽 伊紗
MITAKE Isa